

事務職員

警察官と同じ 責任と誇りを胸に

警察事務職員は警察官という立場ではありませんが、警察組織の一員として、県民を守る警察官をそばで支える立場から、社会の安心・安全に貢献しています。また運転免許事務や遺失拾得物の取扱いなど、窓口業務等を通じて県民と直接触れ合う機会が多いため、「警察署の顔」としての役割も担っています。

事務職員が目指せる多彩なキャリア

サイバーセキュリティ対策本部 総務部装備課 刑事部鑑識課
警察署会計課 総務部情報管理課 警察署警務課警務係



警察署
交通課 事務職員

Day Off

アイドルのコンサートや愛犬との遠出も
一日一日を楽しむための大切な時間です。

運転免許更新の窓口として、一日約100人の県民の皆さんと対面しています。訪れる方の年齢や人柄はさまざま。人によって説明の仕方や話すスピードなどを変えて、より内容が伝わりやすい対応を心がけています。最初の頃は一人一人に合わせた接遇が難しく、悩んだこともありましたが、当時の先輩が「仕事を含めて、今日一日を楽しむことが大切」と教えてくれたことで、心が楽になりました。今でもその言葉を忘れずに、アイドルのコンサートに行ったり、愛犬と遠出をしたり、友達と会ったり、仕事だけではなく自分の時間も楽しみながら充実した日々を送っています。



Day Off

責任とプレッシャーを感じる仕事
リフレッシュできる旅行が趣味です。

鑑定の結果が直接的に事件解決につながることもあり、私たちの仕事には非常に大きな責任が伴います。プレッシャーを感じることも多々ありますが、その分やり遂げたときには、大きな達成感が得られます。仕事の緊張から心を解放するための趣味は旅行。最近では、全国の科捜研職員が集まる研修で仲良くなった同期生と一緒に、岐阜県へ行きました。また、休日は運動不足解消のためにバドミントンなどをして体を動かしています。休日の予定を立てることで、それに向けて仕事を頑張ろうという気持ちになります。休日を思い切り楽しむため、毎日計画的に業務に取り組み、メリハリのある充実した生活を送っています。



刑事部
科学捜査研究所 技術職員



技術職員

科学の知見で、 犯罪者の痕跡を追う

技術職員が活躍する舞台の一つに、科学捜査研究所があります。犯罪現場で採取された資料のDNA型鑑定や、科学捜査に関する実験・研究を、科学的な知見に基づき行います。鑑定結果が犯罪の被害者や加害者の人生を左右してしまうこともあるため、正確な検査を実施することが第一に求められます。